

記入年月日 平成26年4月15日

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 事業名  | 「地域でやりたいことを実現する」市民力アップ事業(いきいき協働事業) |
| 団体名  | NPO法人 Mystyle@こだいら                 |
| 担当課名 | 市民協働                               |
| 事業期間 | 平成25年4月1日～平成26年3月31日               |

**<いきいき協働事業の自己評価>****①地域の課題が解決されたか** (計画時に設定した課題がどの程度解決されたか、対象者がどう変わったか)

地域で実現したいテーマを持ちながらも手法が分からず一歩踏み出せない方々を対象に、会議講座で「話し合う力」を、未来会議で「未来を向く力」を、企画運営講座で「テーマを具体化し対象に働きかける力」を養い、最終的に未来ウィークで「具現化する」という流れで進めてきた。各講座参加者 188 名、アンケートによる評価平均 93.1 点(100 点満点)という高い評価を得ることができ、一定の成果を生むことができた。

また、未来ウィークにエントリーしたグループは計画の 10 団体を上回る 12 団体あり、当初の目的は達成されたと認識している。結果として、それぞれの活動は次のステップに向けて発展し、地域の新たなネットワークも形作られた。

**②自らの団体の長所が発揮できたか** (市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない成果が得られたか、市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開できたか)

NPO設立以来、積み重ねてきた地域ネットワークにより、幅広い年齢層、立場の方々の参加があった。「地域でやりたいことを実現する」プロセスは、当NPOが試行錯誤しながら実現してきたノウハウの集大成だった。そういう意味で本事業は、地域に根ざす活動をしてきたNPOだからこそ実施できた事業だった。

**③協働の姿勢が図られたか** (互いの組織としての理念・使命や組織運営の考え方など相互理解が図られたか、対等関係維持のために適切な協議や意見交換の機会を設けたか、相手方と十分な情報共有が図られたか)

会場の手配や、広く市民の方たちに伝えるための市報への情報発信、市のイベントでのチラシ配布など、民間NPOだけではできないサポートが数多くあった。

また、企画に際してはフラットな立場でアドバイスがあり、運営では共に会場設営や受付を担当するなど、ひとつのプロジェクトを補完しつつ、プロジェクトメンバーとして成功のために協力し合えたことは、当NPOにとっても、協働の実現に大きく一歩を踏み出せたと感じている。一方、反省点としては、内容が多岐にわたり、時間が足りない傾向の中で、情報共有が十分でないまま実施する状況があったことで、この点については、私たちのプロジェクトの進行管理に課題が残った。今後に生かしていきたいと考えている。

**④改善提案**

定例のミーティング予定をあらかじめ組み込むなどして、情報共有を円滑にはかる工夫を取り入れることで、さらにスムーズな協働が推進されると思う。

**自由記載欄**

記入年月日 平成26年3月31日

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 事業名  | 「地域でやりたいことを実現する」市民力アップ事業(いきいき協働事業) |
| 団体名  | NPO法人 Mystyle@こだいら                 |
| 担当課名 | 市民協働                               |
| 事業期間 | 平成25年4月1日～平成26年3月31日               |

**<いきいき協働事業の自己評価>****①地域の課題が解決されたか** (計画時に設定した課題がどの程度解決されたか、対象者がどう変わったか)

市民が地域でやりたいことを実現するための、地域の多様な主体がつながるネットワークづくりや新たな組織や活動を生み出していくためのきっかけづくりとなる事業として、実施することができた。当事業を通じて新たな団体が生まれ、地域活性化に向けた活動が広がってきたことは、地域の課題解決の糸口になったと考えている。

**②団体の長所を發揮させることができたか** (市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られたか、市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができたか)

団体の長所でもあるイベントの企画・運営力やファシリテーション能力、地域に根付いたネットワークを活かし、効果的に事業を展開することができた。

また、市民の地域でやりたいことの実現へ向けた個別の対応に際しては、団体のノウハウと専門性を十分に發揮することで、地域活動の具現化につなげることができた。

**③協働の姿勢が図られたか** (互いの組織としての理念・使命や組織運営の考え方など相互理解が図られたか、対等関係維持のために適切な協議や意見交換の機会を設けたか、相手方と十分な情報共有が図られたか)

協議や意見交換を重ねる中で、団体と市、それぞれの特性や組織運営などについて理解を深めるとともに、役割分担を明確に行い取り組むことができた。

なお、市としては、事業実施にあたっての進行管理や進捗状況の把握が手薄になってしまった時期もあり、定期的な情報交換、協議の場を設けることで、協働の取り組み体制の充実を図る必要があった。

**④改善提案**

事業の実施方法や広報の手法、イベント会場の確保など、より計画的に効率的に実行するため、年度当初の段階で開催日程などを含め詳細な情報共有や調整が必要である。

**自由記載欄**

## 平成25年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 事業名  | 「地域でやりたいことを実現する」市民力アップ事業 |
| 団体名  | NPO法人 Mystyle@こだいら       |
| 担当課名 | 市民協働                     |

### ①目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

|  |                 |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた   | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・地域で活動する市民を育成し、地域活性化につなげていくという、団体と市それぞれの目指すべき方向性は、事業提案当初から同じで認識を持っていたことで、理解し合い、共有することについては特に意識しなくてもスムーズに事業を進めることができた。</p> |                 |

### ②自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

|   |                 |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた  | 担当課自己評価：概ね達成できた |
| <p>・それぞれの立場の違いや考え方やアプローチの違いを理解するとともに、双方の存在を認め合いながら協議や意見交換を重ね、自主・自立を尊重しながら事業を進めることができた。</p> <p>・市としては、団体の専門性や特性を活かすことを意識し過ぎて、イベントの構成内容など全面的に任せてしまった部分があった。</p> |                 |

### ③相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

|  |                 |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた   | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <p>・事業実施にあたっては、それぞれの組織運営等を踏まえ、意見交換を重ねながら相互理解を深めてきた。</p> <p>・さらに、市の仕組みについても理解を求め、市の仕組みの中で柔軟で臨機応変に対応を図ることができた。</p> |                 |

### ④対等関係（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

|  |               |
|--|---------------|
| 団体自己評価：十分達成できた   | 担当課自己評価：達成できた |
| <p>・団体と市との立場の違いや考え方、アプローチの違いを認識し合いながら協議及び意見交換の場の臨んでいたため、対等な立場で事業に取り組むことができた。</p> |               |

### ⑤情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

|  |               |
|--|---------------|
| 団体自己評価：達成できた   | 担当課自己評価：達成できた |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・各イベントの事前準備や進行状況に応じてミーティングを開催し、情報共有するとともに、それぞれ分担している役割についての進行状況等の確認を行った。</li><li>・イベントの開催時期が下半期に集中していたことにより、事前準備が重なり、ミーティングや情報共有の時間がスケジュール的に厳しかった。</li><li>・各イベント実施後は、団体が実施したアンケート調査の集計結果を迅速に市へ報告する等、情報提供も丁寧に行われていた。</li></ul> |               |

### ⑥役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

|   |                 |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた  | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・団体の専門性や地域のネットワーク、市の関係機関等との調整力など、それぞれの長所や立場を活かせるような役割分担を定めることができた。</li><li>・市が持ち合わせていない、イベントの企画・運営力やファシリテーション能力、地域に根付いたネットワークなど、団体の専門性や特性を活かせるような役割分担を行うことができた。</li></ul> |                 |

### ⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

|  |                 |
|--|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた   | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・団体の専門性や特性を活かして事業を展開することで、市単独では実施困難な実効性の高い事業を効果的に実施することができた。</li><li>・団体の活動実績や構築されてきた地域のネットワークにより、幅広い年齢層や立場の市民が参加し、関わることで事業を展開することができた。</li><li>・イベントのアフターフォローとして、市民や団体の個別相談を受けるとともに適切な助言等の対応を図るなど、団体ならではの丁寧なきめ細かい支援を行うことができた。</li></ul> |                 |

### ⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

|   |                 |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた  | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・会議講座で「話し合う力」を、未来会議で「未来を向く力」を、企画運営講座で「テーマを具体化し、対象に働きかける力」を養い、最終的に、未来ウィークで「具現化する」という流れで進めてきて、実際に地域でやりたいことに一歩近踏み出せた市民や団体を生み出すことできたことは、大きな成果となった。</li><li>・市民の地域でやりたいことの実現へ向けた個別の対応に際しては、団体のノウハウと専門性を十分に発揮することで、地域活動の具現化につなげることができた。</li></ul> |                 |

**⑨地域の課題解決**（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

|   |                 |
|---|-----------------|
| 団体自己評価：十分達成できた  | 担当課自己評価：十分達成できた |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・未来ウィークにエントリーし、新たに地域で活動を始めたグループは12団体あり、その活動は次のステップに向けて発展している状況にあり、地域活性化に寄与したと認識している。</li><li>・当事業を通じて人と人のつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが形成されたことは、地域の課題解決の糸口となっている。</li></ul> |                 |

**⑩その他意見**（提案団体から）

|  |
|--|
| <p>・定例のミーティング予定をあらかじめ組み込むなどして、情報共有を円滑にはかる工夫を取り入れることで、さらにスムーズな協働が推進され则认为している。</p> |
|--|

※自己評価項目

|   |          |
|---|----------|
| 1 | 十分達成できた  |
| 2 | 達成できた    |
| 3 | 概ね達成できた  |
| 4 | 目標を下回った  |
| 5 | 達成できなかった |